



松島 広幸

MatsuShima Hiroyuki

国税専門官 平成27年採用

大阪国税局 調査部

「発言」の重みに責任と やりがいを感じる職場



Question

1

現在の仕事内容について教えてください。

私が所属する調査部は、原則として資本金1億円以上の大規模法人に対する税務調査を行っています。

日本を代表する大規模法人の取引は、膨大で複雑かつ専門的なものが多く、その取引の解明のためには、国際課税や組織再編税制など高度な税法の知識が必要となりますので、自身の力不足を実感することもあります。

ですが、研修で身に付けた知識や、税法、国際課税に精通した上司や先輩のアドバイスを受けながら、日々その解明等に果敢に取り組んでいます。



Question

2

仕事のやりがいや達成感を感じたことを教えてください。

税務調査等を通じて、自分の発言や指導により、著名な法人の今後の経理・経営方針に大きな影響を与えることがあります。国家公務員としての「自分の発言」の重みに責任とやりがいを感じます。

時に、調査先の担当者や税理士の方との間で事実認定や法律の解釈を巡り、意見が異なることがあります。

そのような時は、税法に精通した上司や先輩からのアドバイスを参考に、税法の解釈や判例等を調べながら調査先と議論を進めていきます。最終的に相手方の理解を得て、無事に調査を終了できた時には達成感を感じます。



Question

3

今後チャレンジしたいことや抱負をお願いします。

調査部に配属された当初は、税法に関する知識もあまりなく不安でしたが、充実した研修制度や経験豊富な先輩方の指導によりスキルアップできたと実感しています。

専門的な知識の向上は、適正・公平な課税の実現を進めるため、国税専門官として重要なことだと感じています。

特に調査部は、国際税務に関する知識がより求められるため、今後も研修等に積極的に参加し、税法に関する専門的な知識をより深めたいと考えています。

研修等で得た知識を活用し、国際税務に関する仕事に果敢にチャレンジしていきたいと思っています。



Message

国税の職場は、税法等の専門性が高い知識が求められるため、難しいと思われる方がいると思います。

ですが、国税の職場には充実した研修制度が整っているため、研修等を通じて多くの知識を身に付けることができます。

学ぶことが多く大変なこともあります。やりがいと達成感を感じることができ、日々自身の成長を実感できる職場です。

少しでも国税の職場に興味を持った方は、是非、受験してみてください。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！